

第2次小城市総合計画後期基本計画策定に向けた意見について

第2次小城市総合計画後期基本計画策定に向けた総合計画審議会の委員の皆さんからの意見を募集した結果、次のとおり御意見が寄せられました。

1. 意見募集期間 令和2年9月28日（月）～令和2年10月15日（木）
2. 意見者数 6名
3. 意見数 13件

番号	項目等	意見	関係施策等
1	安全・安心のまちづくりについて	小城市は交通の便が悪いので、唐津線の便を増やしていただく、またはバスの運行も検討してほしい。	施策 2-1「道路の保全と交通網の充実」
2	安全・安心のまちづくりについて	小城市内の交通の便が悪いことで自家用車での移動が増えているが、大学周辺に駐車場が少ない。小城公園駐車場の有効活用および利用できる低価格の有料駐車場があるといいのではないか。	施策 1-1「計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり」
3	安全・安心のまちづくりについて	小城市小城町は広い公園もあるが、文教地区であるが、人通りが少なく、危険個所が見られる。防犯カメラ設置が半年程度の限定のモデル事業で実施されているが、必要性が高いので、是非継続してほしい。安全・安心のまちづくりのためには必要である。 また、夜間はとても暗いため、小城駅までの帰宅時・往来等、非常に危ない。夜間専用センサー方式街灯の設置を増やしてほしい。	施策 10-2「防犯体制の充実」
4	安全・安心のまちづくりについて	ホームレスの方が公園内または、町交差点等で見受けられます。自由意思でのことかと思いますが、何らかの保護または公的扶助はできないのでしょうか。	施策 5-1「地域福祉の充実」
5	元気で活気あるまちづくりについて	若者にとっても魅力的な町にならないと人が集まらない。観光地のPRをさらに発展させ、例えば、行列ができるとか、一味違う人気の飲食店が一つでも2つでもあれば、目玉の観光地・土産店などあれば、小城に人が集まり、足を運んでくれるのではないか。 シュガーロードに、羊羹のほかに若者にも人気のスイーツ・麺類店（蕎麦・ラーメン・ちゃんぽん店など）など人気店で小城を訪れる人を増やしていく。	施策 7-3「商工業の振興」 施策 9-2「観光の振興」

6	元気で活気あるまちづくりについて	<p>学生のバイト先が少ないため、佐賀市でのバイト等を求め、佐賀市に住む人が多いのではないかと。バイト先として人気店のバイトもすすめてほしい。</p> <p>まちの活性化のためのアイデアを出してくれる学生委員を募るなどの方法もいいのかと思います。</p>	施策 1-1 「計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり」
7	人口減に対して	<p>住んでみたいという適度な大きさ・ワンルームマンション的な住居の開発、観光や風水害時の待機場所としても、1泊・2泊できるビジネスホテルなどあれば、通勤・通学者の希望の用途に対応できるのではないかと。他市・他県からの人が訪れたい・住んでみたい・入りたいという場所：駅周辺や中心地に宿泊施設が欲しい。また、小城市への移住に良いなどのまちの魅力を伝えるPR・宣伝を検討してほしい。</p>	<p>施策 1-1 「計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり」</p> <p>施策 9-2 「観光の振興」</p>
8	民生委員児童委員について	<p>①小城町民生委員児童委員（高原地区）、三日月町民生委員児童委員（江利・五条地区、樋口地区）の3名が昨年の12月より欠員のままとなっています。近年身近な各地で地震・台風・豪雨が発生、それにプラスしてコロナ禍で日常生活に自粛を要求され、高齢者は健康リスクが増えています。各地区の民生委員は声掛けや見守り支援に頑張っています。しかし上記の3地区は民生委員の欠員で支援を必要とする人たちはどんなにか心細い思いをしてあるのでしょうか。案じられます。</p> <p>②小城町主任児童委員2名のうち2名とも昨年の12月より欠員となっています。過去の経験談ですが、私が民生委員になってまもなく地域のある高齢者から「子どもの相談にものってもらえますか?」、「中1の10月から不登校になっている孫は発達障害（アスペルガー症候群）がありますが、どうにかして卒業させてやりたい」と。私は主任児童委員に相談、小学校の時その子を教えた経験のある小学校の教頭先生にも協力いただき、アドバイスを受け、見守りを続け、情報を提供していきました。中学校は不登校のまま卒業する事になりましたが、高校を受験し合格。その後は親族の愛情に包まれ、まじめに3年間通学し、今は社会人となっています。もし相談を受けた時主任児童委員が欠員の状況だったらどう対応していたでしょうか？</p> <p>後期総合計画を審議する前に、行政に足許の現状（欠員の解消）を解決いただき、一日もはやくみんなで支えあい安心して暮らせるまちになるよう希望します。</p>	施策 5-1 「地域福祉の充実」

<p>9</p>	<p>産業振興、公共交通整備、文化的施設整備について</p>	<p>「平成 29 年-37 年度第 2 次小城市総合計画」16 頁、17 頁の市民ニーズ動向アンケートが小城市の現状を示すと考えます。</p> <p>満足度の高い道路整備、学校学習施設整備に対して不満の度合いの大きな産業振興、公共交通整備、文化的施設整備があげられています。</p> <p>佐賀県内の中央部にあることから昭和 60 年頃までは自動車交通においては優位性がありましたが、鳥栖武雄間の長崎道が昭和 62 年開通してからは、スマートインターチェンジの開通までは、遠隔地からの車がかなり減少しました。学校施設においても西九州大学設置までは高等教育機関がなく他地域との較差が示されていました。</p> <p>産業振興は一朝一夕では達成されませんが、基本は人材と教育であると存じます。小城市観光協会が作成した観光振興計画の中に小城市のテーマとして「水と砂糖の道」があります。本年日本遺産となった「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード～」の内 4 構成遺産がある小城市には「水と砂糖の道」に関する遺産候補が 9（別紙）存在しており、これに注力するために小城市内にある佐賀県果樹試験場に「食品研究センター」を付設し、現在のコロナ禍で需要の大きな加工食品の中心的な研究センターとする試みを実施すべきと考えます。</p> <p>同時に運動公園予定地を活用し、食品産業と食文化に特化した高等教育機関（大学）を誘致する試みを検討すべきと思われると思います。清流文化そして有明海の海の恵みに恵まれた小城の地の優位性を生かした独自の教育と人材育成が求められていると思われると思います。</p> <p>小城映画は平成末年の牛津映画に始まり、令和元年に制作されました。中世鎮西探題として九州平定に当たった今川了俊が小城市乙柳に九州の拠点を構えようとした故事があります。この映画が現在検討されており、千葉氏の時代から肥前の一大中心であった小城が再び光を当てられようとしています。吉野ヶ里と佐賀城本丸歴史館の間にある中世の肥前の中心としての小城の「中世歴史博物館」を徐々に計画すべき時であると思われると思います。</p> <p>以上のプロジェクトは大規模であるため何らかのきっかけをつかむことが求められると思います。このことについては、先年小城市郷土史研究会岩松要輔会長が先導された「小城藩初代藩主鍋島元茂公生誕 400 年記念講演会」が先例として示されています。作家童門冬二氏を招いての講演会は小城鍋島藩七万三千石の歴史のはじまりを示すことで小城市民の意識をかなり高いものとしたと推察しています。</p>	<p>施策 7-3「商工業の振興」</p> <p>施策 9-2「観光の振興」</p> <p>施策 2-1「道路の保全と交通網の充実」</p> <p>施策 3-2「歴史・文化の継承と文化財の保存」</p>
----------	--------------------------------	--	---

		<p>山挽祇園祭 700 年祭しかりで、歴史と伝統の地小城、自然豊かな小城における周年事業とその記録作成を重ねることによって高い文化水準が醸成されるだけでなく、前述の「食品研究センター」「食文化に特化する大学」や「中世歴史博物館」につながっていくと確信します。</p> <p>そしてこれらの施設や事業により育まれる人材が地域のあらゆる分野におけるリーダーとして「誇郷幸輝」の小城市をすばらしい地域として輝くものとするを期待しています。</p>	
10	<p>市民アンケートについて</p>	<p>先日の審議会でも発言させていただきましたが、計画策定の基礎となるアンケートが 30%回収では市民の意見が反映されてなく、データとしては不十分と言わざるを得ません。何のための計画策定でしょうか。ただ単なる計画策定のための、セレモニーとしか思えません。期限が迫っている、との説明でしたが大事なことです。</p> <p>市報か何かで再度提出を促すことが必要ではないでしょうか。より良い市民の意向が反映される基本計画が策定されることを切望します。</p>	<p>市民アンケートでは、毎年市内の 20 歳以上の方、約 34,000 人程度を対象に無作為抽出で標本調査を行っております。</p> <p>様々な資料によりますと、一般的な調査では、母集団が 1,000 人以上の場合は、400 人程度の回答を見込めば必要なデータを得ることができることとされていることから、市民アンケートでは、回収率を見込んで 2,000 人への調査を実施しています。</p> <p>市民アンケートの実施に当たっては、より多くの皆さんに回答いただけるよう改善を図ってまいります。</p>
11	<p>市民アンケートについて</p>	<p>市民アンケートの有効回収数が非常に少ない。小城市の将来像に向けて、中学校、高等学校生へのアンケートも設問設計を変え実施したり、広く街頭調査等行なうなど工夫が必要かと。</p>	<p>市としましては、市民アンケートの調査数については、上記のとおり適切と考えております。</p> <p>第 2 次小城市総合計画の計画期間 9 年間全体に関わる基本構想の策定に当たっては、小城市の将来像について中学生アンケートを実施いたしました。今回の後期基本計画策定に当たっては、基本構想部分に変更しないことから、アンケート</p>

			<p>の実施対象は例年通りとしております。</p> <p>御意見いただいた内容につきましては、今後のアンケート実施の参考とさせていただきます。</p>
12	他市町の取り組み・市民アンケートについて	他市町村などの取組なども参考にされては。基礎資料としての市民意見の取込みの基礎数をあげないと変化に対応できない。	<p>計画策定に当たっては、他市町の動向なども参考にさせていただいております。今後も他市町の取り組みを注視しながら、行政運営に取り組んでまいります。</p> <p>市民アンケートの実施に当たっては、より多くの皆さんに回答いただけるよう改善を図ってまいります。</p>
13	市民アンケートについて	総合計画後期基本計画策定のために、現在市民アンケートを実施されているとのことですが、対象者抽出が住民基本台帳に基づくことされていますが、市内では単身者向け住宅の増加や働き方の多様化等で、住民基本台帳に載らずに居住されている方もおられる市民アンケートでは、こうした方々には実施されず、結果策定に反映されることがないのか、また計画半ばで首相が交代されたり、新たな国策が決定されたりで見直す面も出てくると思います。一方で小城市の人口減少は当初の推計より減少幅が小さく、これは住宅建設、市街地開発の効果ではないでしょうか。市の現状とともに、これからの見通しを次回以降の会議での協議と実績の資料、データの提示をお願いします。	第2回総合計画審議会以降、政策・施策ごとに現状と今後の課題について、またその成果を図る指標の実績と目標についてご説明させていただきます。

御意見ありがとうございました。